

快適なスライド作りと公開



Google Slide でスライドを作ってきたが、問題があることには気づいていた

- PDF がポータブルで好きだが、誤りがあったときに直すのが面倒
- ローカルやクラウドにバラバラにあってどこかにいってしまふ。今まで作ったものは散逸して残ってない

これらを解決したい

背景 ...

Q. そもそもなぜスライドにするか？

なぜスライド？

- 読む側が最小限の時間 / 労力で把握できる
 - 読んでもらうためには数分ですぐ理解できなければならない
 - 本を読み通せるのは、作者と出版社の信用と努力があるから
- 制約が生み出す表現
 - 文字数の制約がある
 - いかにか整理して直感的に伝えるか？を考えるのを強いられる

これらを踏まえて、スライドツール
には何が必要か？

スライドツールに求めること

- WYSIWYG ができる
 - 画像の再配置 / 縮小拡大をやりたいから
- 再編集できる
- コマンドラインで PDF にエクスポートできる
 - スライドを変更するたびに再エクスポートを手動でしたくない
 - PDF は配信に便利である
- 元データをローカルに保存できる (Git 管理できる)
 - コマンドラインや CI を自由に設定できる

なので、ローカルマシンで動作するスライド作成ツールが候補になる

- PowerPoint
- LibreOffice Impress
 - Linux で利用しやすいので、これにした

作成から配信の流れ

- 普通にスライド作成、保存 (ODP)
 - ※ LibreOffice の標準フォーマットは ODP
- 変換 **\$ libreoffice --convert-to pdf *.odp**
- 生成した PDF, 元ファイル ODP をコミット
- GitHub Pages で配信
 - https://kijimad.github.io/roam/pdfs/index.html?file=20250201_slide.pdf

配信



ページ数を指定できたりもする

https://kijimad.github.io/roam/pdfs/index.html?file=20250201_slide.pdf&page=4

まとめ

作成 → 配信がスムーズにでき、修正も楽になった。